



カレッジ college news だより

2007 Nov.
vol.

12

道民カレッジ受講生数
21,238人(10月31日現在)

「広がりをもめつつ」

環境生活コース 道民カレッジ修士
由仁町 田中 達



道民カレッジ事務局から、「ほっかいどう学」出前講座を夕張会場で開催する旨の案内(パンフ)をいただいた。講義内容は「ガーデニングの基礎知識」(庭木の剪定方法、樹木の冬囲いの仕方、草花の越冬方法など)であったので、私も通っている由仁町高齢者教養講座「ユニ・カレッジ」生に紹介したところ10数名が参加したいとのこと。早速一活申込み致しました。

9月28日。当日は、曇り空で今にも雨が落ちて来そうな肌寒い日でした。前半の1時間少々は講義。樹木の植栽・管理・剪定、いずれもなんとなく知っているつもりでしたが、本当のところは全く知っていなかったことがよく分かりました。後半は、外に出て演習・実技指導を受けました。小雨が時々ぱらつく中、垣根などの整姿剪定と大きくなった樹木の自然樹形を残す整姿剪定を目の前で分かりやすく指導していただき有意義な一日でした。

由仁町のカレッジ生がなぜこの講座に関心を示したのか考えて見ると、1つには実技演習があること、2つ目は身近に庭木や樹木があり、その管理に苦勞しているからではないかと。当然の事ながら、人を集めるには身近なテーマ、時節にマッチしたテーマが求められます。「ユニ・カレッジ」の学習プログラムをみても「救急救命法」、「歯の健康」、「高齢者の体力維持・増進」、「防災意識を高めよう、体験学習」など当面する課題を取り上げています。更に、道民カレッジの教養講座に当たる「陶芸・絵手紙・押し花・木版画・京友禅手描染・ハーブリース作り・キャンドルクラフト」「春秋の自然観察・パークゴルフ」など手足を動かし手先を使い自ら行動する講座が豊富に組まれています。これだけ充実しているのですから、道民カレッジの仲間をもう少し増やしたいと紹介の機会を持たせていただいても、わざわざ江別・札幌まで行って学ぶこともないというのが大方の見方ようです。

今年度、町教委の意向を受けて「ユニ・カレッジ」の講座に道民カレッジ生が2コマ担当することになり、「教えることは学ぶこと」の気持ちで8名で引き受けることにしました。このことによって、来年以降、新しい流れが生まれるかもしれないと期待しているところです。

さて、平成14年12月に道民カレッジの受講生になってからまもなく5年になります。環境生活コースの学士を取得したのは15年12月、No27号でしたので割合早い方だったように思います。ところが、修士の取得までそれから2年以上かかり、博士号には後1年はかかりそうです。札幌等で開催される道民カレッジに出席すると、どの人も熱心に意気込みをもって参加しているのが伝わってきます。刺激を感じます。

学ぶということは本当に楽しいです。過日の称号取得者等「学習活用セミナーⅥ」において主催者の方から『「道民カレッジ」等においていつまでも健康で学ぼうとすることが大きな社会奉仕である』とのお話がありました。この考え方を多くの方に伝え、遊ぶ仲間、学ぶ仲間を増やし行きたいと思うこの頃です。

道民カレッジの現状

(平成19年10月31日現在)

道民が、いつでも、どこでも、学びたい時に学ぶことができる「道民カレッジ」は、今年で7年目を迎えました。ここで道民カレッジの現在の状況をお知らせします。

◎学 生 数 21,238人(男性 9,177人 女性 12,061人)

◎管内別学生数

(学生数 21,238名)

管 内	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	留 萌
受 講 生	7,482名	996名	1,006名	1,283名	941名	2,719名	712名
管 内	宗 谷	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室
受 講 生	610名	1,422名	645名	1,091名	575名	987名	769名

◎称号取得者

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞
201人	112人	78人	10人

お知らせ

「ほっかいどう学」大学放送講座

主催講座の大学放送講座は、道内10大学の参加のもと、HBCテレビによって実施されていますが、12月8日（再放送は12月15日）をもって終了します。見損なったり再度視聴したい方は、下記の方法でビデオや動画を視聴することができます。

なお、講座は平成20年3月31日まで開設しております。

①HBC 北海道放送

ほっかいどう学BB <http://manabi.hotnet.co.jp>

HBCが北海道総合通信網株式会社と共同制作したインターネット動画サイトです。

②放映ビデオの活用と貸し出し方法

「大学放送講座」放映ビデオまたはDVDを道内各市町村と高等学校へ貸し出す予定です。「大学放送講座」の終了後、1月～9月を予定しております。

③情報交流広場

かでの2・7ビル9階 ビデオレファレンスコーナーでも、大学放送講座のビデオを視聴できます。（12月中旬～9月までの予定）

講座内容

放送日時	大学名 講師名	テーマ
第1回 再放送 10月6日(土) 10月13日(土)	札幌大学 川名 広文 教授	“なぞ”のオホーツク文化 ～枝幸町目梨泊遺跡から～
第2回 再放送 10月13日(土) 10月20日(土)	旭川大学 佐々木 悟 教授	北の商店街活性化への挑戦
第3回 再放送 10月20日(土) 10月27日(土)	北翔大学 奥岡 茂雄 教授	北の風土に根ざした美術 ～6人の画家にみる、想いと表現～
第4回 再放送 10月27日(土) 11月3日(土)	北海学園大学 樽見 弘紀 教授	北の大地で起業する！ ～市民起業のススメ～
第5回 再放送 11月3日(土) 11月10日(土)	北海道医療大学 近藤 里美 准教授	音楽の神秘 ～私たちのまわりと体内にある音楽～
第6回 再放送 11月10日(土) 11月17日(土)	北海道情報大学 福島 吉春 教授	近江商人の遺産 ～北海道経営学のルーツ～
第7回 再放送 11月17日(土) 11月24日(土)	北海道大学 苫小牧研究林 日浦 勉 教授	ブナ林の果て ～冷温帯林の地域間比較～
第8回 再放送 11月24日(土) 12月1日(土)	北海道東海大学 織田 憲嗣 教授	デンマークに学ぶ旭川家具 ～よいモノを長く使い続ける～
第9回 再放送 12月1日(土) 12月8日(土)	東京農業大学 生物産業学部 園田 武 講師	恵みをもたらす“海跡湖” ～森・川・海の微妙なブレンド～
第10回 再放送 12月8日(土) 12月15日(土)	北海道教育大学 前田 和司 准教授	歩くスキーを楽しもう！ ～北の自然と調和したスポーツ～



収録風景



「ほっかいどう学」出前講座の今後の予定について

市町村	テーマ	実施日	会場	問い合わせ先
帯広市	◇地域の価値、再発見 ～帯広、十勝の未来をデザインしてみませんか～	1月20日	とかちプラザ	帯広市教育委員会 0155-22-7915
真狩村	◇基幹産業に基づく食文化の振興について ～真狩中学校・真狩高校・他町村等の取組に学ぶ～	2月20日	真狩村公民館	真狩村教育委員会 0136-45-3336
北見市	◇市民と行政の協働によるまちづくり（仮題）	2月21日	北見市役所研修室	北見市役所市民活動推進室 0157-25-1105
白老町	◇虎杖浜温泉の活性化を考える	2月予定	虎杖浜温泉地区	白老町役場産業経済課 0144-82-6491
鹿部町	◇食育を通じた地域づくり	1月31日	鹿部中央公民館	鹿部町教育委員会 01372-7-3124
鹿追町	◇しかおい学・カナダ学と鹿追町のまちづくり ～子ども達と大人が創る未来の鹿追町～	2月予定	鹿追町民ホール	鹿追町教育委員会 0156-66-3300

次回は、私たちの企画で実施することに!!

～称号取得者「学習成果活用セミナーⅥ」を開催～

10月2日（火）、かでの2・7において、称号取得者及びモニターを対象に「学習成果活用セミナーⅥ」が開催されました。

当日は、石狩圏域ばかりでなく、帯広市、北見市、由仁町、及び新ひだか町など全道各地より33人のカレッジ生が出席し開催されました。

このセミナーは、これまでの学習の成果を生かしつつ、取り組んできた活動の情報を交換し、今後の活動を広げていくことを目的として開催されてきており、今回で6回目を迎えました。

研修内容は、道民カレッジ事務局の十河課長より「道民カレッジの地方展開に向けて」と題した説明があり、その後、佐賀主幹と二階堂社会教育主事の指導のもと、6グループに分かれ実習「自主企画講座の実際」に取り組みました。

この実習は、ある町の社会教育行政資料（現状、問題、課題等）が各グループに提示され、それぞれの領域（少年教育、成人教育、青年教育、家庭教育、高齢者教育等）から一つ課題を取り上げ、その課題解決のための話し合い、そして事業としての実施要項づくりを実習しました。

各グループは、午前午後にわたる長時間の協議の後、取り組みの成果を発表しました。

各グループの発表内容（事業名）

- 1班「高齢者教育について」
- 2班「地域に根ざした人づくり」～三世代のふれあいサロン～
- 3班「生きがいつくり講座」～F町名人教室～
- 4班「少年教育について」
- 5班「いつまでも健康に過ごすために」～あなたの健康度を知ろう～
- 6班「明日の自立と生きがいつくりを高めるセミナー」～幅広い仲間作りを目指して～

各グループの発表後、全員による投票を行いました。結果、3班の実施要項案が最も多く投票されたことにより、この要項に従って実際に実施することとしました。

称号取得者「学習成果活用セミナーⅦ」の開催について

（3班の原案）

- 事業名** 「生きがいつくり講座」～F町名人教室～
- 趣 旨** 高齢者の持つ技術、技能を若年層に伝承することにより、高齢者の生きがいつくりを高揚させることにより町の活性化を図る。
- 期 日** 平成20年2月12日（火）
- 場 所** かでの2・7
- 内 容** ①講義～漬け物名人、三平汁名人、名所案内名人
②実習他

*上記の内容を基本にして、実施します。



熱心に話し合うカレッジ生

新規 道民カレッジ称号取得者一覧 (平成19年3月23日～平成19年11月21日)

【学長奨励賞】 10名中

豊田カヨ子 (札幌市)、 中嶋 深幸 (札幌市)、 五郎部 勇 (札幌市)、 飛谷 昭一 (旭川市)、
管原セイ子 (札幌市)、 佐々尾雅志 (札幌市)、 荻野 貞範 (千歳市)、 榎本 聰子 (札幌市)

【道民カレッジ博士】 81名中

田中 裕史 (帯広市)、 中嶋 深幸 (札幌市)、 川原 一成 (札幌市)、 丸川 和宏 (当別町)、
大方 英雄 (旭川市)、 鈴木 久美 (札幌市)、 榎本 聰子 (札幌市)、 佐々尾雅志 (札幌市)、
深畑千恵子 (札幌市)、 新村 祐吾 (札幌市)、 管原セイ子 (札幌市)、 五郎部 勇 (札幌市)、
中塚 豊 (札幌市)、 犬養 希佑 (札幌市)、 豊田カヨ子 (札幌市)、 佐賀富士男 (札幌市)、
斎藤 和男 (札幌市)、 船戸 若子 (帯広市)

【道民カレッジ修士】 117名中

佐々尾雅志 (札幌市)、 中嶋 深幸 (札幌市)、 早坂 惇司 (北見市)、 三浦 保彦 (札幌市)、
榎本 聰子 (札幌市)、 永井 頼恵 (江別市)、 豊田カヨ子 (札幌市)、 飛谷 昭一 (旭川市)、
荻野 貞範 (千歳市)、 松田 仁明 (釧路町)、 佐賀富士男 (札幌市)、 佐々木光雄 (札幌市)、
船戸 若子 (帯広市)、 鈴木 久美 (札幌市)、 管原セイ子 (札幌市)、 石岡由利子 (鹿部町)、
永井 愛子 (江別市)、 熊谷 ゆき (札幌市)、 清井たつゑ (帯広市)、 斎藤 和男 (札幌市)、
永井 廣 (石狩市)、 田中 豊實 (音更町)

【道民カレッジ学士】 207名中

清井たつゑ (帯広市)、 田村 恒夫 (釧路町)、 坂本 繁光 (音更町)、 川原 一成 (札幌市)、
渡辺 常雄 (札幌市)、 宮本 修一 (札幌市)、 久保田法順 (札幌市)、 岡本 武雄 (由仁町)、
永井 愛子 (江別市)、 夏伐 数夫 (北見市)、 堀木 理恵 (江別市)、 柿倉桂三郎 (北見市)、
加藤 京子 (北見市)、 高橋 保昭 (江別市)、 三浦 義松 (札幌市)、 佐藤 文彦 (帯広市)、
管原セイ子 (札幌市)、 豊田カヨ子 (札幌市)、 宇賀 邦久 (札幌市)、 中嶋 深幸 (札幌市)、
平川 省三 (滝川市)、 藤原 忠 (江別市)、 閑念 益次 (倶知安町)、 渡辺 実 (旭川市)、
田中 豊實 (音更町)、 五郎部 勇 (札幌市)、 榎本 聰子 (札幌市)、 丸川 和宏 (当別町)、
三浦 清富 (北見市)、 小嶋 舞子 (北斗市)

関連事業で活躍 するカレッジ生



オホーツク圏カレッジ生



道南圏カレッジ生

関連事業の受付風景



道北圏カレッジ生



根釧圏カレッジ生

カレッジだより Vol.12

平成19年11月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
財団法人 北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階
TEL (011) 231-4111(内線36-343) FAX(011) 231-6664
URL <http://www.hsgk.jp/college/> Eメール college@hsgk.jp

